

# こどものページ

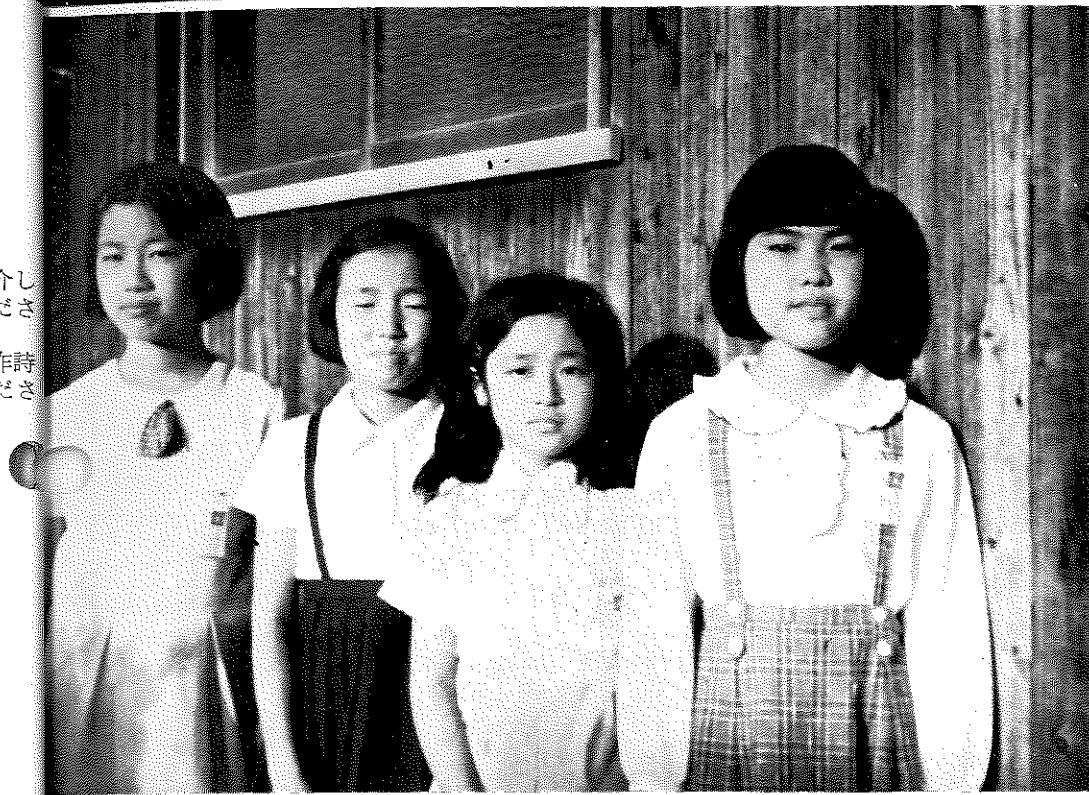
## わたしの作曲 右手と左手

わたしたちの音楽47年6月号に「右手と左手」という、中村千栄子さんの詩を御紹介したところ、4人のおともだちが作曲して送ってくださいました。皆さん、歌ってください。感想文も合せ読んでください。

この中から、好きなメロディを選んで伴奏をつけてあげてください。皆さまからの作詩や作曲、カットやまん画、作文やお習字など、どんな作品でもよいですから送ってください。お名前と年齢をお忘れなく、待っています！

10才 松田栄子

10才 西村満子



(写真は右から松田栄子さん、西村満子さん、村藤尚子さん、品川恵子さん)

私は、ソルフェージュのグループに、と中から入れてもらったので、曲を作るのは初めてでしたけど、先生から詩を教えてもらって、その詩を読んでいるうちに、自然にメロディがうかんできました。(原文のまま)

松田栄子(小4)

わたしは、去年の夏休みと、今年の夏休みで二度目の作曲です。去年はいそいでかいたので、あまりうまくできませんでしたが、今年は、落ち着いてかいたので、自分ではよくできたと思っています。(原文のまま)

西村満子(小4)

みぎてと ひだりて せんせが グー です  
 みぎてと ひだりて せんせが グー です  
 ちよきです こんにちは ミ エン  
 ちよきパー さようなら パ ジャマ  
 かけてる ママの そ は  
 ぬ。てる ママの そ は

10才 村藤肖子

私は、去年も作曲しました。去年は初めてだったからあまりできなかったけど、今年  
 は、だいぶなれて楽しく作曲しました。(原文のまま)

村藤肖子(小4)

みぎてと ひだりて せんせんほん グー です  
 みぎてと ひだりて せんせんほん グー です  
 チョキです こんにちは みーん  
 チョキパー さようなら パ ジャマ  
 かけてる ママの そ は  
 ぬ。てる ママの そ は

11才 品川恵子

詩を見た時、かわいらしい詩だなあ—としましたが、なかなかメロディーがうかばな  
 く、自分では、あまりよくできていないと思います。

これからも、たくさん楽しい曲を、作っていきたいと思います。(原文のまま)

品川恵子(小5)

品川俊子先生  
 よりのお便り

作曲して下さった  
 4人のおともだちを、  
 御指導くださった品川  
 俊子先生より、次のよ  
 うなお便りをいただき  
 ました。

前略ごめんください。お手紙有難うございました。突然のことにて  
 びっくりいたし、どうしたものかと恐縮しながら、お手紙をかいて  
 いる所でございます。

私方、山口大学を卒業いたし、20年間宇都市の中学校に音楽教師と  
 して勤め、昨年家庭の都合にて退職いたしたものでございます。  
 ご近所のお子様方30名位にピアノをレッスンいたしているわけでご  
 ざいですが、ただピアノだけでなく音楽の基本的な事に時間をか  
 け、その上でピアノレッスンをおこなった方が、より効果的と考え  
 られましたものですから、昨年6月よりソルフェージュグループを  
 2つ作りしました。

ソルフェージュ、リズム、聴音等を主として、毎週土曜日に大体、  
 年令とピアノ進度の同じ位の予供さんの希望者のみ、1時間半位か  
 けて、レッスンいたすことにしました。

夏休みは時間を3~4時間位かけ、創作もさせてみました。  
 これは昨年からのことですから、今年で2年目になるわけで、まだ  
 音の進行とか形式とかの説明はしておりません。

ただ、詩を生かし、言葉のニュアンスを大切にメロディを、子  
 供たちに自由に創らせているわけです。

この度、とても可愛らしい詩が、目にとまりましたので、夏休みにな  
 ってすぐ創らせてみました。

作曲することによって、子供たち自身で、拍子感とかリズム等が、  
 自然に理解でき身についてくるように思われ、日頃とり組んでいる  
 ことの総仕上げ的な役割もはたしているように思っています。

この4人のグループは、4・5・6年生人6で作っているグループ  
 です。何とかメロディーをまとめ上げた4人の作品を厚かましく  
 も送らせていただいものです。

ピアノの程度は皆、同じ位の者ばかりで、ソナチネ・チェルニ30  
 番程度の生徒です。4名の感想と写真も一応同封しておきます。

—中略—

山口県にて、どうしても中央から離れ、色々な勉強のチャンスも少  
 ないので、何とか私自身子供の指導法等、勉強したいと思っています  
 ですので、毎月貴誌が送られますのを楽しみにしております。

公開レッスンや教養講座等いつも東京なので、せめて大阪あたりで  
 あればと願っています。

色々ごめんどうでしょうが、地方の者たちのためにも色々御便宜を  
 はかっていただけますと大変幸せです。—後略—